

事業区分 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業「きらりキャンプ in 阿蘇」

事業名 「リアルしか勝たん！おふらいんきゃんぷ2023」

[主催] 国立阿蘇青少年交流の家

[共催] 医療法人横田会 向陽台病院

[後援] 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 阿蘇市教育委員会

[期日] 令和5年9月16日(土)～17日(日) 【1泊2日】

[活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家

[参加者] 向陽台病院に入院歴のある児童生徒で、ネット・ゲーム依存に限らず不登校や発達障害などで治療をしている児童生徒及び、通院中の児童生徒 計13名

[担当職員] 阿蘇青少年交流の家3名

[ボランティア] 法人ボランティア3名、熊本大学社会教育演習生4名

1 趣旨

向陽台病院へ通院しているまたは、入院歴のある児童を対象に、治療的な取り組みの一貫として自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、子供達の自己肯定感の向上や生活習慣の改善等につながる多様な体験を提供し、自立する力を身に付けることを目指す。

2 目標

- (1) 参加者の8割が、参加して良かったと満足感を得ることができる。
- (2) 参加者(児童)の8割が、安全にかつ安心して取り組むことができたと感じることができる。

3 事業展開

(1) 研修プログラム

1日目 9月16日(土)		2日目 9月17日(日)	
9:00	向陽台病院 集合	6:30	起床・荷物整理
9:30	向陽台病院 発	7:30～9:00	朝食・部屋点検
11:30	阿蘇青少年交流の家 着	9:00～10:00	忍者の森体験
12:00～12:30	開会式	10:00～11:00	レクリエーション・フリータイム
12:30～13:00	アイスブレイク	11:00～12:45	バーベキュー
13:00～14:00	昼食	12:45～13:15	アンケート記入
14:00～17:00	リアル脱出ゲーム	13:15～13:30	閉会式
17:00～18:00	就寝準備(テント設営等)	13:45	阿蘇青少年交流の家 発
18:00～19:00	夕食・休息	15:30	向陽台病院 着 解散
19:00～20:30	ナイトハイク・焚火・星座観察		
20:30～21:30	入浴		
21:30～22:00	就寝準備・就寝		

(2) 活動の様子



【開会式】



【リアル脱出ゲーム①】



【リアル脱出ゲーム②】



【キャンプファイヤー】



【忍者の森体験】



【テント泊】

4 評価、成果と課題

(1) 評価

① 参加者の満足度

設 問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
楽しく活動できましたか。	回答数(人)	12	1	0	0
	割合(%)	92.3	7.7	0.0	0.0
安心して過ごすことができましたか。	回答数(人)	10	3	0	0
	割合(%)	76.9	23.1	0.0	0.0
また参加したいですか。	回答数(人)	10	3	0	0
	割合(%)	76.9	23.1	0.0	0.0

② 参加者の声

- ・ 二人一組でする運動をしてみたいです。オフラインでも楽しくできて良い時間でした。
- ・ 次はカレー作りをしたいです。ボランティアのお姉さんと遊べて良かったです。

(2) 成果

- 事前に向陽台病院とオンライン会議を通して入念に打ち合わせを重ねた。また、参加者に対する事前説明会を向陽台病院で行う際、職員のみならず法人ボランティアや社会教育演習生も参加し、事前に研修や参加者との交流を行うことができ、全員が安心して当日を迎えることができた。
- 向陽台病院職員に対するアンケートにおいて、「当事業が有意義であったか」という設問に対して「有意義だった」と答えた方が93%だった。また、「来年度も継続して実施したい」と答えた方が93%おり、今後も日数や内容等を検討のうえ、継続していくことが望ましい。
- 「リアル脱出ゲーム」については、向陽台病院職員と法人ボランティアと共にオンラインでミーティングをする等、協働して準備をした結果、多くの参加者が楽しかったと答えた。

(3) 課題

- テントで宿泊した参加者の中に、一睡もできなかつたり睡眠不足になったりした参加者がいた。その結果、「安心して過ごすことができた」の満足度が低かったため、次年度は宿泊日数を増やすのであれば、今年度同様、宿泊場所を選ぶ配慮を行ったり早めの就寝を促したりする必要がある。
- 当事業の趣旨にもある自己肯定感の向上や生活習慣の改善につなげるためには、宿泊日数を増やすと同時に、自己決定や自己解決、協働する場面を取り入れる等の工夫が必要である。